

整理番号	48-3	事務事業名	スポーツ団体等育成事業		作成部署	生涯学習部総合体育館	電話	372-0808
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内平一郎	課長職名	松尾定治	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H7	根拠法令等						
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	総合体育館を利用するサークル・団体等の相互交流や活動を助長することを目的として開始された。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐむまち	(第4章)
	節	スポーツとレクリエーション	(第5節)
	施策	スポーツサークル等育成事業	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市民・及び総合体育館利用サークル・団体	
	意図(何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか)	総合体育館を利用する個人・サークル・団体が相互に交流し、親睦を深めるとともに、利用マナーや気持ちよく利用してもらう意識の啓発	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	総合体育館内にある花壇を利用して、サークル・団体等に呼び掛けをし花を植えながら相互の交流親睦を兼ね又景観をよくすることにより気持ちよく利用できるよう実施した。
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

(単位:千円)

【事業費の推移】

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	221	123	138	138
	合計	221	123	138	138
人件費(概算)	人数(年間)	0.02	0.02	0.02	0.02
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= x	180	180	180	180
総事業費 +		401	303	318	318

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	花いっぱい・レクリエーションの集い	1回	1回	1回	1回
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	参加者数	114人	130人	135人	140人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	参加者1人当りコスト (総事業費÷参加者数)	3,500円	2,300円	2,300円	2,200円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	利用者・利用団体相互の交流機会により活動面や施設の利用にあたっての理解が図られている。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	団体・サークル相互の交流機会の提供により施設管理への理解を得ながら市民参加にもつながるものであり妥当と考える。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	団体間の交流は、施設を利用する意識の向上又、施設の管理に関わることで、親しみや利用マナーの向上につながるため妥当と考える。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	適切であると考えます。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	利用者同士、団体サークル間での声かけや利用調整など運営面での成果は、概ねあがっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率的 かなり非効率的	コスト面においては、花壇整備等の委託化を考えると、市民参加による花壇整備によって概ね効率的である。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	スポーツ・レクリエーション活動団体の交流機会は、コミュニティ形成を図るためにも継続すべきと考える。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり